

S S T L

NO. 90 25. 11. 2

職場参加ニュース

共に働くって…こういうこと あんなこと

—地域、職場でたしかめる国連総括所見



12.14 sun. 共に働く街を創るつどい2025

2022年、国連の障害者権利委員会から日本政府に「総括所見」が出されました。その中で「雇用・就労」の分野では、いまのA型、B型、移行などの就労系サービスは障害者を社会から分離していると指摘しています。分離につながる施策を改め一般労働市場にひらかれた共に働く社会へすすめてゆくべきと勧告がなされました。国連は2028年までに次回の報告を政府に求めています。

この機会に、地域で「共に働く」をすすめてきたさまざまな活動が、互いに出会い、つながりを深め、自治体、国へ課題を投げかけてゆく準備として、共に働く街を創るつどい2025を開催します。(⇒本ニュース8ページも参照)

テーマ：共に働いて…こういうこと あんなこと

—地域、職場でたしかめる総括所見

日時：2025年12月14日(日)13:30~16:30

パネリスト：浅草 秀子さん(埼玉県ワーカーズ・コレクティブ連合会事務局長)

岡田 由紀子さん(ワーカーズコープ連合会越谷自立支援事業所所長)

大塚 眞盛さん(NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会代表理事) 他

コーディネーター：朝日 雅也さん(埼玉県立大学名誉教授)

会場：越谷市障害者就労訓練施設しらこぼと・ホール

〒343-0011 越谷市大字増林 5830-4 048-965-6594

参加費(資料代)：会員500円 非会員：700円

交通：越谷駅東口から朝日バス 増林地区センター・いきいき館・総合公園行「増林バス停」下車

※市立病院行乗車の場合は、同病院で下車し徒歩約8分

手話通訳：依頼中

主催：NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会 〒343-0041 越谷市千間台西2丁目19番地38

048-964-1819(FAX 共) shokuba@deluxe.ocn.ne.jp

後援：越谷市(依頼中)

本部を東越谷から千間台西に移転しました



昨年度の定期総会から課題となっていた東越谷の「職場参加ビューロー世一緒」を10月1日から「B型事業所せんげん台『世一緒』」の近所(徒歩5分)に移転いたしました。

B型の制度を活用した事業と法人の自主事業を、これまで以上にリンクさせて動いてゆきます。新事務所の通称は「世一緒本部」です。当面は、月、水、金の10:00~16:00開いています。

住所は越谷市千間台西2-19-38 電話、メールは従来通りです。なお、せんげん台西口より1時間に2本の浅間神社入口行バスで第三公園入口下車徒歩1分です。

9.20 共に学び共に働く街づくりシンポジウム報告

9月20日、NPO法人障害者の職場参加をすすめる会(大塚眞盛代表理事)主催の「共に学び、共に働く街づくりを考えるシンポジウム」(後援:越谷市 越谷市社会福祉協議会愛の詩基金助成事業)が、越谷市中央市民会館で開催されました。



（総合司会：野島久美子さん 進行：山下浩志さん）

シンポジストのお三方(松山美幸さん、坂口佳代子さん、前田海里さん)は、それぞれ異なる障害(聴覚、脊損、難病)を有し、年代も離れていますが、いずれも通常学級から高校へ進み、卒業後2人が就職し、1人は大学に進み当時のバイト先で卒業後も働いています。



3人とも「共に学び、共に働く」経験をしてきましたが、そのちがいが興味深く感じられました。

共に学ぶー45年後の答え合わせ

幼い時から聴覚障害の松山さんは、還暦になり、父を合同墓で見送っ

た時、中学の級友に声をかけられて初めて同窓会に参加したといいます。会話もした記憶がない級友たちが、自分のことを考えてくれていて、一緒に過ごした自分の存在はすごく意味があったと皆に言われたそうです。「答え合わせのようでした」と松山さん。

バリアに阻まれて拓かれていった世界

車椅子使用の坂口さんは、高校に母の車で通学しましたが、母が来れない時、通行人に階段を担いでと声を出す勇気がなかったので、「やくざっぽい甘栗屋のお兄さん」に駅員を呼んできてもらったそうです。でも、やがて友達と野外コンサ 1 に出かけ、隣合わせた青年に肩車をしてもらったり、世界が広がりました。別の青年と出会い、結婚し母となり、離婚し、独自の「シングルマザーのリセットライフ」を構築してゆきます。



職場でもみ合い、出会いもあった

二人とも何度も就職と離職を重ねています。松山さんは、社員300人の3分の1が多様な障害者で、一緒に働き、薄給でしたが、仕事は楽しかったといいます。社内結婚して辞めていく先輩が多く、自分も夫と出会い結婚しました。坂口さんは卒業後、障害者多数雇用事業所でキーパンチャーをしましたが、1年で腱鞘炎になり退職。地元のヨーカドーで館内放送が性に合ったのですが、辞めて結婚へ突き進みました。

分かち合うとき、分かち合えないとき



前田さんは中学時、特支学校を勧められましたが、「どの子も地域の公立高校へ埼玉連絡会と出会い県立高校へ進み。さらに大学にもチャレンジしました。そして、大学で他の障害者たちと出会い、一緒に通学路の点検など活動し、大きな刺激になったといいます。

坂口さんは、施設長を務める障害者施設の通所者達とこうした体験を分かち合えないでいる悩みをもらいました。

すると、松山さんがボランティアで行かせて下さいと言いました。親の介護のため離職した松山さんは、積極的に町会に出て。町会長から国勢調査員を拝命したといいます。そのため、区の説明会に手話通訳を頼んだら「聴こえないのにできるんですか」と職員に訊かれ、自分ではスマホの音声認識ソフトをインターホンに付けて町内を回ろうなどと考えていたのにと憤慨しました。そして「差別だ」と総務省にも訴えたそうです。

いっぽう、前田さんはバイト先の上司に誘導され退職届を出す寸前まで行くと語りました。

制度の外でも出会おうよ

支援制度の壁の外の天気は、降ったり、晴れたり、風が渡ったり、時には荒れて危険な日もあります。でも時には、今日3人のシンポジストが語ったように、制度の外に出なければ出会えないことがあり、出会えない人間関係があるんですね。支援が透明の壁になってしまわないように、支援の在り方も変えて行きましょう。

闘いとした支援、配慮が壁と化す 答え合わせは何度でも



シンポジウムの最後に、会場からの質問や意見をうかがい、まとめを行いました。

野島 わたしは坂口さんが、昔電車に乗るのが大変で、ひとに声をかけることができなかったということを聞いて、坂

口さんもそういう時代があったんだと少し安心した。坂口さんは活発で気が強くて本当にすごく、こんな子もいるんだなというのが印象でした。その話を聞いて自分もその時代があったなと思っ

て。

前に八潮にいたときに鉄道がなくて駅を使うのは草加駅だったんです。電動車いすで草加駅で階段の下でずっと見つめていて3時間も経って、らちが明かなくて声を出した。それで今日来ている原さんと相談して草加にエレベーターをつける運動が始まったんですが、きっかけって、そういう人もいたんだと。私だけじゃないんだと今日聞いてよかったと思いました。

大塚 前田さんに質問というか意見というか、S社の話を聞いてひどい会社だと思ったんですが、S社みたいな大



きな会社だと労働組合があると思う。横のつながりを持って行くことが大事だと思う。労働組合があれば仲間同士で困っていることを会社と交渉してほしいと言えば、上層部の方で判断して改善してくれると思う。前田さんは周りの人と話ができる人がたくさんいると思うが、労働組合は会社と交渉権があるから、そこで職場の問題を話せば前田さん以外にも悩んでいる人がいると思うので。そういう問題は働くうえで大切なことだと思うので会社で働く他の人たちと問題を共有してくれれば働くうえで大事だと思う。

今井 松山さんが中学が一番思いが残っているというのは私もすごくわかる。中学は楽しいけれどしんどいこともい



っぱいあったなと。子どもから大人に移行する大事な時期で自分も悶々と考えているし、圧力もあるし、そのしんどい中でどう過ごしたかが大事なんだろうと思って聞いていた。最近は「小学校は一緒でもいいけれど、中学校は特別支援教育」という親も多いが、それじゃやっぱり駄目なんだろうと思う。子どもが大人に移行していく中で、何を共有して時には戦ってという経験が大事なんだろう。私も中学2年の、環境がひどかった中での友達と今も毎年会っている。

関 ペんぎん村という会をやっている関です。松山さんも坂口さんも小学校時代いじめがあつていやだったとい



うのは元小学校教員としてえーっという感じです。40年ぐらい前、浦和の小学校の臨時採用になって、正採用になって特殊学級の教員としてスタートした。坂口さんのいた時代に教員をやっていたが、なんでそんなことがあったのと言いたいぐらいという様子です。ただ、本当に認めてはいけませんが、いじめられることも含めてあたりまえの子ども社会、教員が認めたということは絶対許しちゃいけないが、そういうことも含めて子供の世界、それがその後社会に出たいとかやっていきたいということにつながっているのではないかと私なんかは思う。

坂口さんの話で14名の通所者がいろいろなサービスに守られ特別支援教育を受けてきた中で、障害者になり切っている、障害者という前にあたりまえの人間なんだというのが福祉の充実で見えなくなっている。資料集に載せていただいたが、11月22日、23日に全国交流集会をやるが、そのテーマが出会えないのはなぜ。

40年以上こういう運動にかかわってきて、今課題になっているのは学校生活、共に学ぶことが抜け落ちると共に生き

る社会になっていかないということが明らかになってきているが、本当に共に学ぼうという障害児、保護者と出会えなくなってきていることが大きな課題。

我々と一緒にやってきた親たちはいじめられてなんぼ、そのために普通学級に行くんだと言っていたが、今どきの親はいろんな面で気を使いすぎる。子ども同士の中のあたりまえの出来事に気を遣っているというのは孫を見ていると思うし、娘はかなりアバウトな人間だけど、彼女でさえかなり気を遣う。

3

水谷 この間県交渉があつて、特別支援教育の専門...が、今子どもたちって支援計画みたいなものをみんな作って学校生活をすごさせている、そして、卒業してからみんなが地域で過ごさせているのが目に見えるようだともすごく自信たっぷりで話していて、つつこめなくて 口惜しくて帰ってきた。学校の先生ってなんであんなに自信たっぷりなのか。



学校にいる時間って人生の中でほんのちょっぴり。でも根本は学校、小さいころにどうやって育ったかは後の人生に何らかの影響を与えると思う。私も高校時代にすごくいじめられて、でもそのくらいの年になると、あと1年我慢するとあとは自由になれると思うと我慢できてそれは後に影響を与える。悪い経験ではないと思う。

吉原 坂口さんが先ほど、作業所の話で自分の思いを押し付けてはいけないんだという悩みを言っていました、ほかのシンポジストの方の現在の悩みはありますか



(前田さんから「周りの人の顔をうかがってしまうことが増えてしまってそれが疲れるというか。プライベートの方でも考えていて、疲れる生き方だよなと感じている。」という悩みが語られる。)

中山 自分もわらじの会に関わり始めたころは、よくわからなかったからやりたいように行動していました。少し全体が見えてくるようになったら、前田さんのように周囲に気を遣うようになりました。それからまたいろいろ



んな経験があつて、今はまた気を遣いつつ、自分のやりたいことをしています。松山さんの言うように、答え合わせの連続なんだと思います。答え合わせをして、また少し進んで、また答え合わせをして、というように。

日吉 本当に人生いろいろで面白いというのが今日の感想です。

山下 3人の方が街の中に出ていくことでいろんな風が吹いていくし、ぶつかるし、悩む。その中で社会全体としては支援制度ができたり配慮が進んでいく。それでなんでぶつかったのかもわからなくなったりしていく。その積み重ねが現在であるかもしれない。

しかしそこには本当はいろんな体験が重なって今の社会があることを常に掘り起こして共有していくことが大事で、制度ができただけからいいのではなくその制度をいかに共に生きるために活用していくのか、松山さんが国勢調査のおもとの内閣府に問い合わせたことに尽きるのではないかなと思う。

制度ができて住みやすくなる、ぶつからなくなる半面見えなくなる。その後遺症というのが社会の中に積み重なってきている。今日はそういう意味で社会の中で埋もれている財産をちょっと掘り起こして共有する機会になったのではないかと思います。

す い ご ご

FLASH

● 7月9日 田名部憲一さん (べしみ)



冒頭から「映画はもうみないです」と衝撃の宣言。「だけど映画は嫌いじゃない」だけ「映画の曲はよく聴きます」。今日のすいごごタイトルの「それなら映画でしょ」を「映画の音楽聴くでしょ」ととらえていただければ、と。

そして「今日、ジェットコースターの日なんで、ジェットコースターをテーマにした映画の曲を入れて、だらだら曲を流します。」と、冒頭から映画音楽を流し続けている。だが、客席は黙っていない。

先陣は有竹さん。田名部さんの現場であるべしみの現状と今日のこのDJとはどう関連しているのかを問いかける。田名部さんが応答し、その表現では伝えきれないと感じたらしいべしみ非常勤職員須賀さんが、田名部さんがべしみに関わっているさまざまな障害のある人たちとのことなどを語った。

● 7月30日 飯田渉太さん (べしみ)



「社会へのドアが開いた」趣味の野球観戦について話したいと思います。3年前まではテレビで見る事が多くて、見たことなかったのべしみの

活動で東京ドームまでの行き方をやってくれないかとお願ひしてやってもらいました。それを全部覚えていきました。開幕戦がだいたい3月末なんですけど、車いすの席は15席しかなくて少ない。基本的にどの試合の2か月前くらいからなので日程調整するのが難しい。東京ドームのバリアフリーというのはエレベーターもあるんですけど、それぞれトイレが3、4個あってちょうどこんな感じでした。

今バリアフリーが推進されているけど、何の目的で地域で共にっていうのかなという僕の中の疑問が最近浮かんできました。

● 10月22日 大野言弥さん

(キッチンとまと)

ワーカーズコレクティブのお弁当屋さん「キッチンとまと」でお弁当の電話注文の受け付け担当として働いている大野言弥さん



世一緒本部の内覧会と同日同時時間帯の10月11日(土)午後、越谷市市民活動支援センターで、埼玉協同労働推進ネットワーク

主催の「まちづくりフォーラム」で、「キッチンとまと」代表の須長こうさん、そして「キッチンとまと」への超短時間就労を支援したせんげん台「世一緒」の施設管理者・山崎泰子さんと一緒にシンポジストを務めた報告。シンポ当日をふりかえり、ドヤ顔の大野さん。山崎さんの説明によると、当日は緊張していて、電話受付と配達の仕事内容を話していたそうです。しかし、すいごごでは、「月、火の配達の人、は、ジンさんで楽しいです！『おはようござーいます。』」と声帯模写。

KOTOYA ライブ進化中！

● 11月5日 水谷淳子さん (医師)



せんげん台西・陸橋通りの「世一緒本部」に引っ越して、2回目のすいごごカフェ。水谷淳子さん(医師)による「冬へ向かうからだ」と題するト

ーク。

タイトル「冬に向かうからだ」は、世界の終末の始まりと喧伝されたコロナウィルスにからめた。

コロナは5番目の風邪のウィルスになっている。

インフルエンザは風邪の一種。風邪の中では、熱が高く、ふしぶしの痛みやだるさなども、そして全身症状が出やすい、人にうつりやすいなどの性質があるというだけ。

国は新型コロナワクチン納入時に、副作用等が出ても製薬会社には一切責任を問わないという契約書を取り交わしており、その情報開示請求裁判が行われ、10月9日、東京地裁は「すべてを不開示とするのは違法」と判決を下した。

コロナ、インフルエンザのことだけでなく、知らず知らずのうちに刷り込まれていることを考えてみよう。

風邪をひくのはわるいこと？熱はすぐ下げなきゃダメ？

医者のお話もうのみにしない。

自分のからだの治る力と対話しながら……

職場・地域ひろがりつうしん

県が市町村の職場参加施策をまとめ



埼玉障害者市民ネットワークの総合県交渉が今年も8月21日、9月5日に行われ、当会担当の「はたらく」の分野では、

初めて市町村の「福祉施設からの一般就労」等の職場参加施策について具体的な数字が示されました。

県内7市町で、「雇用・就労を前提としない職場体験事業を行うための情報提供と支援策」を実施。また超短時間就労と福祉施設の併用については、県内10市でB型が15件、自立訓練が1件、移行が2件、計15件該当があったほか、2市で該当があったが件数は未把握とのことでした。

後日、市町村名も教えていただきました。

「世一緒本部」内覧会を行いました



10月11日(土)、小雨の中13:00から15:00まで、越谷市千間台西2丁目19番地の「世一緒本部」で、

内覧会が行われました。当初の予定が1週繰り延べとなり、埼玉協同労働推進ネットワーク主催「まちづくりフォーラム」とかちあってしまい、キッチンとまとの須長代表やとまとで早朝お弁当の電話受付をしている大野さん、せんげん台世一緒の山崎さんらが参加するシンポに行けず残念でした。

後半、運営委員の朝日県立大学名誉教授もおいでいただきました。職場参加をすすめる会らしく、自作のアクセサリを売りたいとか、共同除草作業に参加して工賃をもらいたいとか、親の介護のかたわら超短時間就労をめざしているとか、就労先でのパワハラに悩んでいる・・・といった話もかわされていました。ありがとうございました

まちづくりフォーラム in こしがや



10月11日(土)午後、当会は「世一緒本部」の内覧会とかちあってしまいましたが、キッチンとまとの須長代表と共に、せん

げん台世一緒からとまとに職場体験し、現在は弁当注文電話受付と配達同行している大野さんが職員の山崎さんとシンポジストに。労働者協同組合ワークレ「そら」、「生活自立相談よりそい」等にまじり、共に働き、共に生きる街づくりを語り合いました。

うんとこしょ秋の共同除草



10月17日(金)晴れ。蒲生にある生活クラブ生協越谷センターで、うんとこしょ共同除草作業が行われました。この

作業は年2回、就労継続支援事業所「せんげん台世一緒」が受注し、利用者と職員が11人作業に従事したのですが、その作業現場に発注者であるセンターはじめ、生活クラブ越谷ブロック地域協議会(ブロック役員、生協各支部、各ワーカーズコレクティブ、当会等)が参加して一緒に働いてみるという双方向、複方向の珍しい試みでもあります。

障害の有無をこえカヌー体験を



11月2日(日)当法人理事で靴底加工会社尾谷社長が代表を務める春日部市カヌー協会は「銚子フェスタ」で

カヌー体験を担当。同協会参加者22名、カヌー2人乗り5艇、1人乗り5艇で、67組134名の方々にカヌー体験を楽しんでいただきました。

11月9日(日)草加松原松尾芭蕉杯カヌー大会8:00~12:00 綾瀬川でのレースに参加してみたい方は尾谷会長にご相談ください。



共に働く街を創るつどい2025へ向けて

障害者への差別は人類を貧しくする

「障害のある人々はしばしば社会の主流からはずされる。

差別はさまざまな形態をとり、教育の機会を奪うような不公平な差別からもっと巧妙な差別、物理的、社会的障害を設けることによって隔離や孤立を図ることまでさまざまである。

社会もまた損害をこうむる。障害を持つ人々の膨大な能力を失うことになり、それは人類を貧しくする。障害についての認識や概念を変えることは、社会のあらゆるレベルでの価値観を変え、理解を深めることを意味する。」

国連障害者権利委員会が日本に勧告

みなさん、このカゲキなコトバはどこ誰が言ったと思いますか？左上のマークがヒントです。なんと！そうなんです。国連です。日本締約国となっている障害者権利条約を各国政府がきちんと実施しているかどうかを監視する「障害者権利委員会」が、国連の中にあるんです。18人の委員の多くが障害者本人です。

その「障害者権利委員会」が2022年10月日本政府に対し「総括所見」を公表し、「障害者総合支援法のB型とかA型とか就労移行といった福祉サービスは、低工賃、低賃金であり、障害のない人たちと同じ職場で共に働き、同等の賃金を得ることにつながらず、障害者、特に知的障害者と精神障害者は分け隔てられた働き方になっている」という内容の懸念を示しました。

そして、日本政府に「現在のB型とかA型とか就労移行等から、民間企業及び省庁・自治体等の職場で、知的障害者や精神障害者も含むさまざまな障害者が、障害のない人々と同一労働・同一賃金であたりまえに共に働くことがすみやかにできるよう、努力を強めること」といった勧告をしました。

分けない働き方をつなげ差別のない社会へ

政府の対応は、能力・適性別の福祉サービスの篩分けをさらに強める方向でしかなく、「総括所見」に呼応する強力な全国運動は形作られていない状況です。ただ、共同連、ワーカーズコープ、ワーカーズコレクティブをはじめ、独自の「共に働く」を積み重ねているネットワークがあり、これまでも学ばせていただきました。

当会の「職場参加」は小さな取り組みですが、単に障害者個人の実習ではなく、職場という社会への参加であり、職場全体が障害者に参加するという社会運動でもあります。そして、自治体が自らの職場をひらき、地域の公的機関や企業等の職場開拓も行うこと、地域の福祉施設等の参加を支援することがポイントです。

昨今、障害者雇用枠、特例子会社、雇用代行などが広がるにつれ、障害者だけが集められて本業とはかわりのない作業に従事しているという「総括所見」の指摘通りの分離状況が進んでいます。そういう実態ではあれ就職につながるのは特支学校新卒者の30%前後であり、60%余は障害福祉サービスの利用者になり、滞留が深まっています。

越谷市や埼玉県庁以外の自治体、地域でも、ぜひ、この職場参加を進めてほしいと考えています。関心のある方はご連絡ください。

再開！すいごごカフェカレンダー

11/12(水) 13:30~15:00 @世一緒本部	ゲスト 山脇雅史さん	カリンバと共に ママチャリで都心へ、江ノ島へ、走り奏でつつ考える
11/19(水) 13:30~15:00 @世一緒本部	ゲスト 内野かず子さん	子育てと職場開拓の話 言葉のなかった子と向き合い、障害者を知らない職場を開拓して・・・
11/26(水) 13:30~15:00 @せんげん台世一緒	ゲスト 野島久美子さん	私とわら細工の話 私の暮らし、そしてわら細工とは何かについて
12/3(水) 13:30~15:00 @世一緒本部	ゲスト 白砂 巖さん	いのちにありがとう 誰もが自分の「いのちにありがとう」と言って生き合う社会へ
12/10(水) 13:30~15:00 @世一緒本部	ゲスト 未 定	未定(ゲスト募集中！自薦、他薦OK)
12/17(水) 13:30~15:00 @世一緒本部	ゲスト 大津 敬さん	内容考え中です。 GH テレサを運営する特定非営利活動法人 精神障害者の自立生活をすすめる会代表理事。2度目のトーク

2025 年度会費、寄付ご納入ありがとうございました。(五十音順、敬称略)

【正会員会費】青木 繁、阿久津康仁、朝日雅也、有竹和子、伊藤峰子、内野かず子、大坂富男、太田ちひろ、大塚眞盛、尾谷英一、黄川田仁志、木下恭子、小森陽子、佐々木洋子、清水泉、清水泰代、竹迫和子、田島玄太郎、谷崎恵子、辻浩司、辻彩子、友堅由紀恵、中山佐和子、西陰博子、野村康晴、橋本克己、長谷川颯、幡本洋子、原和久、樋上秀、日吉孝子、前田直哉、正木敬徳、松尾晃史、松山美幸、水谷淳子、水谷浩志、谷塚祥子、山崎泰子、山崎有子、山田裕子、湯谷百合子、吉田久美子、吉原広子

【賛助会員会費】岩崎廣司、及木聡、及木順子、佐藤恵美子、島根淑江、並木理、原田真弓

【団体会員】NPO 法人共に生きる街づくりセンターかがし座

【寄 付】朝日雅也、伊藤峰子、小野 達雄、小森 陽子、出村 常子、長谷川 颯、松尾晃史、水谷 淳子、山崎滋、山崎有子

職場参加ネットワーク

温泉に行きました

匿名

温泉に行きました。楽しかったです。

ろてん風呂と高濃度炭酸泉が気持ちよかったです。一人で行くのがさみしいのでだれかと行きたいです。

仕事しています

美柔

仕事は、グループホームで仕事をしています。仕事の内容は、夕食の準備、キッチンの消毒などをしています。利用者の皆さんと楽しくすごしています。

仕事が終わる時は、雀レディーで週に二日、野菜販売の手伝いをしています。

春日部のバザーに行つて

中田 麻里子

先日、自分一人で春日部行つてき

ました。ナツとタコうまいぼうかってきました。

小さいぬいぐるみが安かった。その後、セブンイレブンアイス買いました。綿あめたべました。

ニースを見て

佐藤 景子

山に近い所の一けん家に住んでいる人たちがクマにおそわれていました。命の危険で亡くなった方もいました。本当に怖いです。

近況報告です

M

私はA型事業所Hを5月で退職しました。原因は仕事内容が合わず自律神経の異常をきたし体調が悪化したためです。その後6月からB型事業所Rで週5日働いています。仕事内容は内職とPC作業です。おかげさまで継続できています。一年以内にまたA型事業所にチャレンジします。今の事業所はとてもいい環境です。読んでいただいてありがとうございます

これからの世の中

黒田正巳

これからの自分、みんなもこんな大変な世の中になるとは思ってなかったと、でも自分はこうなる事は少しはわかってました。

これから本当に又物のねだんが上がったりもして、お金がないと、お年寄りがどんどんなくなり、子供のしょうしがすすみ日本人の口が少なくなった時は、日本は大変です。

その時は、自分も年寄りになるし、人にめんどろみてもらわれないと、そのころは、外国人も日本に来て、今より仕事する人がふえて、そのうなる前に、本当に先の事しんけんに自分だけじゃなく、みんなも考えて下さい。

さいきん思つ事

森住由香里

35年ぐらい家のよつばいをしてきました。

さいきん年と障害がおもくなつて、いえの中車イスですごしはじめました。外は電動がつくれることになりました。でもへたすぎて

お金がほしい

匿名

かぜをひいてしまい自宅にじょうび薬がないので、薬が高いですけどわざわざ買い飲みでもなならないので内科に行くかけんとう中です。夜はみんさいを飲んでいるので、すこしは眠れるようになったけど朝はきついです。朝はごあいさつをしてタバコを吸ってテレビのニュースを聞いて朝食を作り支たくをして朝食を食べてさんぽをしながらか話したりお金やいろんな物をひろつて楽しみながら仕事に行きます。いろいろあるけど以上です。

話したり農作業が楽しい

K・W

世一緒に来てみんなと話するのが楽しい。外にすることが好きなので畑での農作業は楽しい。

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

再開！すいごごカフェカレンダー

11/12(水) 13:30~15:00 @世一緒本部	ゲスト 山脇雅史さん	カリンバと共に ママチャリで都心へ、江ノ島へ、走り奏でつつ考える
11/19(水) 13:30~15:00 @世一緒本部	ゲスト 内野かず子さん	子育てと職場開拓の話 言葉のなかった子と向き合い、障害者を知らない職場を開拓して・・・
11/26(水) 13:30~15:00 @せんげん台世一緒	ゲスト 野島久美子さん	私とわら細工の話 私の暮らし、そしてわら細工とは何かについて
12/3(水) 13:30~15:00 @世一緒本部	ゲスト 白砂 巖さん	いのちにありがとう 誰もが自分の「いのちにありがとう」と言って生き合う社会へ
12/10(水) 13:30~15:00 @世一緒本部	ゲスト 未 定	未 定 (ゲスト募集中！自薦、他薦OK)
12/17(水) 13:30~15:00 @世一緒本部	ゲスト 大津 敬さん	内容考え中です GH テレサを運営する特定非営利活動法人精神障害者の自立生活をすすめる会代表理事。2度目のトーク

2025 年度会費、寄付ご納入ありがとうございました。(五十音順、敬称略)

【正会員会費】青木 繁、阿久津康仁、朝日雅也、有竹和子、伊藤峰子、内野かず子、大坂富男、太田ちひろ、大塚眞盛、尾谷英一、黄川田仁志、木下恭子、小森陽子、佐々木洋子、清水泉、清水泰代、竹迫和子、田島玄太郎、谷崎恵子、辻浩司、辻彩子、友堅由紀恵、中山佐和子、西陰博子、野村康晴、橋本克己、長谷川顕、幡本洋子、原和久、樋上秀、日吉孝子、前田直哉、正木敬徳、松尾晃史、松山美幸、水谷淳子、水谷浩志、谷塚祥子、山崎泰子、山崎有子、山田裕子、湯谷百合子、吉田久美子、吉原広子

【賛助会員会費】岩崎廣司、及木聡、及木順子、佐藤恵美子、島根淑江、並木理、原田真弓

【団体会員】NPO 法人共に生きる街づくりセンターかがし座

【寄 付】朝日雅也、伊藤峰子、小野 達雄、小森 陽子、出村 常子、長谷川 顕、松尾晃史、水谷 淳子、山崎滋、山崎有子